

一昨三十日委員長及理事互選ノ結果左ノ如

27

送付(委員)

理事

井茂猪君 馬岡次郎君
淳也君 松木弘君

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

委員長 由谷 義治君

理事 小笠原八十美君 駒井、重次君

深澤 吉平君 石坂 豊一君

シテノハナモノ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出) 委員
辭任由谷 義治君
補闕土屋清三郎君

兵器等製造事業特別助成法案(政府提出)

委員
辭任河部
茂夫君
浦彌士屋清二郎君

醫學問

○議長(田子一民君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮詢致シマス、國民更生金庫法中止

正法律案外四件委員長及ビ郵便法中改正法
御詰　至三一七國民更生金庫法中正

案外三件委員長ヨリ、本日本會議中委員
會ト開キタイトノ申出ガアリマス、之ヲ許

スルニ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

、仍テ之ヲ許可致シマス——日程第一及

第二ハ、便宜上一括議題トナスニ御里議
ノリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

<p>○議長(田子一民君) 御風議ナシト認メマス、仍テ日程第一、民法中改正法律案、日程第二、不動産登記法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——岩村司法大臣</p>
<p>第一 民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)</p>
<p>第二 不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)</p>
<p>第一讀會</p>
<p>民法中改正法律案 民法中左ノ通改正ス</p>
<p>目錄中「第二款 庶子及ヒ私生子」ヲ「第二款 嫡出ニ非サル子」ニ改ム</p>
<p>第七百三十五條 家族ノ子ニシテ嫡出ニ非サル者ハ戸主ノ同意アルニ非サレハ其家ニ入ルコトヲ得ス</p>
<p>嫡出ニ非サル子カ父ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ母ノ家ニ入ル母ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ一家ヲ創立ス</p>
<p>第四編第四章第一節中「第二款 庶子及ヒ私生子」ヲ「第二款 嫡出ニ非サル子」ニ改ム</p>
<p>第八百二十七條第一項中「私生子」ヲ「嫡出ニ非サル子」ニ、同條第二項中「私生子」ヲ「子」ニ改ム</p>
<p>第八百二十八條及第八百二十九條第一項中「私生子」ヲ削ル</p>
<p>第八百三十條中「私生子」ヲ「子」ニ改ム</p>
<p>第八百三十五條 子、其直系卑屬又ハ此等ノ者ノ法定代理人ハ認知ノ訴ヲ提起スルコトヲ得但父又ハ母ノ死亡ノ日ヨリ三年ヲ経過シタルトキハ此限ニ在ラス</p>
<p>第八百三十六條第二項中「私生子」ヲ「子」ニ改ム</p>

ム
四 親等ノ同シキ者ノ間ニ在リテハ女ト雖モ嫡出子及ヒ庶子ヲ先ニス
第九百七十四條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ規定ノ適用ニ付テハ胎兒ハ既ニ
生マレタルモノト看做ス但死體ニテ生
マレタルトキハ此限ニ在ラズ
第九百九十五條ニ左ノ一項ヲ加フ
第九百七十四條第二項ノ規定ハ前項ノ
場合ニ之ヲ準用ス
第十四條中「庶子及ヒ私生子」ヲ「嫡出ニ
非サル子」ニ改ム

第三十九條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加
第一條第三項ノ規定ハ子ノ認知ノ訴
ニ之ヲ準用ス

第六條 法例中左ノ通改正ス

第十八條第一項中「私生子認知」ヲ「子
ノ認知」ニ改ム

不動産登記法中改正法律案
不動産登記法中左ノ通改正ス

第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ

登記所ハ建物ニ付キ所有權ノ保存、移
轉若クハ登記名義人ノ表示ノ變更ノ登
記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ
家屋臺帳所管廳ニ通知スルコトヲ要
ス

第三十七條第二項中「前項」ヲ「第一項」ニ
改メ同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ申請書ニハ家屋番號ヲ記載スル
コトヲ要ス

第九十一條第二項中「敷地ノ番號」ノ下ニ
ニ「又ハ家屋番號」ヲ加フ

第九十二條中「敷地ノ新番號」ノ下ニ「若
クハ新家屋番號」ヲ、「且」ノ下ニ「建物ノ
番號ノ變更」ノ登記ヲ申請スル場合ヲ除ク
外家屋臺帳謄本ヲ添附シ尙」ヲ加フ

第百條中「敷地ノ番號」ノ下ニ「若クハ家
屋番號」ヲ加フ

第一百條ノ一第一項中「土地ノ番號」ノ下ニ
「又ハ家屋番號」ヲ、「土地臺帳所管廳」ノ
下ニ「又ハ家屋臺帳所管廳」ヲ加フ

第六百六條 未登記ノ建物所有權ノ登記ハ
左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ證
ヲ得

一 家屋臺帳謄本ニ依リ家屋臺帳ニ所
有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證
スル者

昭和十三年法律第十六號及ビ之ニ基ク同年勅令第百六十二號ニ依リ、軍ノ需要充足ノ爲メ必要アル場合ニ於テハ、當分ノ内前金拂又ハ概算拂ヲ爲シ得ルノ特例ヲ設クル等ノ措置ヲ講ジマシテ、今日マデ實行シテ參ツタノデアリマス、然ル所支那事變ハ漸次發展シテ、遂ニ大東亞戰爭トナリマシタルニ伴ヒマシテ、從來陸海軍ノ需要充足ノ爲ノ必要アル時ニ限リ認メラレテ居リマシタル前金拂又ハ概算拂ヲ、陸海軍以外ノ官廳ニ於テ國防上必要ナル工事ヲナス場合等ニ於テモ認メマスルノヲ適當トスルノミナラズ、新タニ前金拂又ハ概算拂ノ方法ニ代ヘルニ政府ノ手形保證ヲ以テシ、之ニ依ツテ金融ノ途ヲ講ジマスルト共ニ、其ノ他陸軍又ハ海軍ノ出納官吏ノ責任解除ニ關スル特例ヲ設ケ、更ニ陸軍ノ見習士官又ハ海軍ノ候補生ニ對シ出納官吏ト同様ノ資格ヲ與ヘ得ルコトトシ、以テ戰時ノ實情ニ即スルヤウ措置スルコトト致シマス等ノ爲メ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(田子一民君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諸リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、日本勸業銀行法中改正法律案外五件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(田子一民君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第四、南方開發金庫法案、第一讀會ノ續ヲ開

ノ措置ヲ講ジマシテ、今日マデ實行シテ參ツタノデアリマス、斯クノ如ク本金庫ハ大東亞戰爭ノ遂行、大東亞共榮圈ノ確立ト密接ノ必要アル時ニ限リ認メラレテ居リマシタル前金拂又ハ概算拂ヲ、陸海軍以外ノ官廳ニ於テ國防上必要ナル工事ヲナス場合等ニ於テモ認メマスルノヲ適當トスルノミナラズ、新タニ前金拂又ハ概算拂ノ方法ニ代ヘルニ政府ノ手形保證ヲ以テシ、之ニ依ツテ金融ノ途ヲ講ジマスルト共ニ、其ノ他陸軍又ハ海軍ノ出納官吏ノ責任解除ニ關スル特例ヲ設ケ、更ニ陸軍ノ見習士官又ハ海軍ノ候補生ニ對シ出納官吏ト同様ノ資格ヲ與ヘ得ルコトトシ、以テ戰時ノ實情ニ即スルヤウ措置スルコトト致シマス等ノ爲メ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

第四 南方開發金庫法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年一月三十日

委員長 前田房之助
(前田房之助君登壇)

衆議院議長田子一民殿

前田房之助君登壇

○前田房之助君 只今議題トナリマシタル
南方開發金庫法案委員會ノ審議ノ經過茲ニ
結果ヲ御報告申上ゲマス

南方開發金庫ハ、南方地域ニ於ケル資源
ノ開發及ビ利用ニ必要ナル資金ヲ供給シ、
併セテ通貨及ビ金融ノ調整ヲ圖ルヲ以テ目的
のトルモノデアリマス、大東亞戰爭ニ際
シテ帝國ノ對南方經濟政策ノ根本方針ハ、
大藏大臣ガ説明サレシ如ク、當面ノ戰爭遂
行ニ遺憾ナカラシムル爲メ、重要資源ノ需
要ヲ充足スルコトヲ第一義トシ、併セテ大
東亞共榮圈内自給自足ノ體制ヲ確立セント
スルニアルコトハ言ヲ俟ダザル所デアリマ
ス、隨テ作戰ニ伴ヒテ南方ニ於ケル豐富ナ
ル資源ノ開發利用ヲ、效率的ニ且ツ重點的
ニ促進スルコトハ極メテ肝要デアリマス、
是ガ爲メ必要ナル資金ヲ圓滑ニ供給スルノ
途ヲ開キ置クコトハ喫緊ノ要件デアリマス、
本金庫ハ此ノ要求ニ即應スルコトヲ使命ト
致シマスルト共ニ、更ニ南方地域ノ今後ノ
如何ナル情勢ノ變化ニモ對應シテ、本金庫
ヲ以テ南方ニ於ケル帝國ノ通貨金融對策運
營ノ原動力タル中樞機關タラシメントスル

モノデアリマス、斯クノ如ク本金庫ハ大東
亞戰爭ノ遂行、大東亞共榮圈ノ確立ト密接
ノ關係ヲ有スル重要法案デアリマス
モガ故ニ、本委員會ハ極メテ熱心ニ且ツ真
摯ナル態度ヲ以テ、質問應答ニ終始致シタ
ノデアリマス、是ヨリ質疑應答ノ重要ナル
點ヲ申上げマス、詳細ハ速記録ニ就テ御承
知ヲ願ヒタイト存ジマス

第一點ハ、法案第一條ノ南方地域ノ意義
如何ト云フ點デアリマシテ、此ノ南方開發
金庫ノ活動スベキ地域ノ問題デアリマスル
ガ、政府ノ答辯ハ、目下作戰進行中デモア
リ、勅令等ニ明示スルハ不適當ナリト考フ
ルモ、內容トシテハ、此ノ金庫ガ業務ヲ行
フベキ南方地域トハ、差當リ「フィリッピ
ン」、英領「マレイ」、英領「ボルネオ」、蘭領
東「インド」等、現ニ作戰ニ係ル諸地域ヲ豫
定シ、尙ホ今後作戰ノ進展等ニ伴ヒ擴張ス
ベキ旨、茲ニ佛印、「タイ」ハ將來ノ情勢ニ
依リ考慮スルモノ、南洋委任統治區域、香港、
南支等ハ包含セザル旨ノ答辯ガアツタノデ
アリマス

第二點南方開發金庫ハ作戰ニ伴フ一時的
ノ金融機關ナリヤ、又本法案ハ臨時立法ト
觀念スベキヤトノ點デアリマスルガ、之ニ
對スル答辯ハ、南方開發金庫ハ南方地域ニ
於ケル資源ノ開發及ビ利用ニ必要トル資
金ヲ供給シ、併セテ通貨及ビ金融ノ調整ヲ
圖ルヲ以テ目的トシ、現地ノ情勢ノ推移ニ
クベキ開發擔當者ハ何人カ、又如何ニシテ
開發擔當者ヲ定ムルカノ點デアリマス、之
ニ對スル政府ノ答辯ニ依レバ、開發方針ノ
大綱ハ、戰局ノ推移ニ應シ各資源ノ需要緩
急度並ニ輸送ノ狀況等ヲ勘案シ、中央ニ於
テ決定スルモ、石油、鑛產、農林產等ノ開
發ニ付テハ、差當リ新タナル綜合會社、共
同企業ノ形態ヲ避ケ、經營能力アル企業者
ノ熱意ト創意ト十分ニ發揮セシメ、能率
的生產ヲ行ハセル方針デアリ、重要ナル開
發擔當者ノ決定ニ當ツテハ、民間統制團體

營ノ原動力タル中樞機關タラシメントスル
モノデアリマス、斯クノ如ク本金庫ハ大東
亞戰爭ノ遂行、大東亞共榮圈ノ確立ト密接
ノ關係ヲ有スル重要法案デアリマス
モガ故ニ、本委員會ハ極メテ熱心ニ且ツ真
摯ナル態度ヲ以テ、質問應答ニ終始致シタ
ノデアリマス、是ヨリ質疑應答ノ重要ナル
點ヲ申上げマス、詳細ハ速記録ニ就テ御承
知ヲ願ヒタイト存ジマス

第三點ハ、南方開發金庫ノ主務大臣ト現
地ニ於ケル業務等ノ監督ノ問題デアリマス
モガ、之ニ對スル政府ノ答辯ニ依レバ、此
ノ金庫ノ主務大臣ハ大藏大臣デアリ、金庫
ノ業務ハ、法人ノ内部關係トシテハ、總裁
ガ總理スルノガ當然デハアルガ、軍政施行
期間中ハ、現地企業ノ監督ハ軍ノ司令官ガ
支金庫ニ對シテ命令スルモノデアリ、併シ
此ノ命令ハ現地ノ軍司令官ノ獨斷デ行ハレ
ルモノデハナク、企業ノ根本方針ハ勿論、
細部事項ニ付テモ中央關係官廳協議ノ上、
中央ニ於テ決定スルノ建制デアツテ、ソレ
ヲ軍中央部ヨリ現地司令官ニ指令スルモノ
デアルカラ、中央ノ方針ト現地司令官ノ命
令トノ間ニハ、何等ノ齟齬ヲ生ゼザルヤウ
萬全ノ措置ヲ講ゼラレルトノ答辯デアリマ
ス

第四點ハ、此ノ金庫ヨリ資本ノ供給ヲ受
クベキ開發擔當者ハ何人カ、又如何ニシテ
開發擔當者ヲ定ムルカノ點デアリマス、之
ニ對スル政府ノ答辯ニ依レバ、開發方針ノ
大綱ハ、戰局ノ推移ニ應シ各資源ノ需要緩
急度並ニ輸送ノ狀況等ヲ勘案シ、中央ニ於
テ決定スルモ、石油、鑛產、農林產等ノ開
發ニ付テハ、差當リ新タナル綜合會社、共
同企業ノ形態ヲ避ケ、經營能力アル企業者
ノ熱意ト創意ト十分ニ發揮セシメ、能率
的生產ヲ行ハセル方針デアリ、重要ナル開
發擔當者ノ決定ニ當ツテハ、民間統制團體

ノ意見ヲ参考シテ
關係官廳十分打合セ
ノ上、適任者ヲ決定スペク、尙ホ其ノ際從
來南方諸地域ニ於テ多年辛苦經營セル邦人
企業者ニ付テハ、其ノ活用ヲ十分考慮シテ
居ルトノコトデアリマス

第五點ハ、此ノ金庫ノ通貨及ビ金融ノ調
整ノ意義如何デ、之ニ付キマシテハ差當リ
軍票使用ノ過程ニ於テハ、現地ニ在ル從タ
ル事務所、即チ支金庫又ハ出張所ハ、當該
地域ニ於テ所要ノ軍票資金ヲ臨時軍時費特
別會計ヨリノ貸付ニ源泉ヲ仰ギ、資源ノ開
發及ビ利用ニ必要ナル向ヘ融資スルモ、其
ノ際資金ノ使用ヲ最モ效率的ナラシメ、放
出セラレタル軍票ハ極力預金ノ吸收ニ依リ
回收ニ努ムベク、現地通貨ト軍票トガ併存
スル場合ニ於テハ、現地通貨ニ依ル軍票ノ
リノ借入レ、現地各金融機關ヨリノ預金ノ
受入レ、債券ノ現地發行等ニ依リ資金ノ調達
ヲナスト共ニ、通貨及び金融ノ調整ニ資シ、一
般銀行ガ本邦ト南方諸地域トノ間、或ヘ南方
諸地域間ノ爲替取組ヲナス事態ニ於テ、爲
替銀行ノ資金調整等ハ、差向キ本金庫ヲシ
テ行ハシムルコトガ適當ナル旨ノ答辯ガア
リマシタ、尙ホ爲替事務ノ問題デアリマス
ルガ、將來南方地域ニ於テ通貨制度ガ安定
致シタル後ニ於テハ、南方相互間、日本ト
南方ノ間、又滿洲國、支那ト南方トノ間ノ
爲替事務ハ正金銀行、臺灣銀行等ノ爲替銀
行ニ當ラシムベキデアルガ、全體ノ各地間
ノ爲替事務ノ如キ大ナル中権的決済機關ト
シテハ、今回改正セラレマスル日本銀行ノ
職能ニ於テ行フトノコトデアリマス

領「マレー」ニテハ海峽「ドル」軍票デアリマスルガ、此ノ軍票一「ペソ」ハ現地通貨一「ペソ」ト等價ニ、一海峽「ドル」軍票ハ現地通貨一海峽「ドル」ト等價ニ流通セシメテ、現ニ極メテ圓滑ニ流通シテ居ルトノコトデアリマス、更ニ爲替相場ニ付テハ、南方地域ハ現ニ作戦進行中デ、現地ノ金融其ノ他ノ經濟情勢モ變化ヲ豫想セラル等ノ關係ヨリ、早急ニ確定的ナル爲替比率ヲ圓トノ間ニ定ムルコトハ困難ナルト共ニ、不適當ト認メラルノデ、軍關係其ノ他特殊ノ場合ヲ除キ、差當リノ原則トシテ資金ノ交流ヲ統制スル旨ノ答辯ガアリマシタ、又更ニ速記ヲ停止致シマシテ補足説明ガアリ、其ノ已ムヲ得ザル所以ヲ諒ト致シタノデアリマス

次ニ第七點トシテハ、現地ノ日本側金融機關トノ關係、其ノ業務ノ調整方針如何トノ點ニ對シ、南方開發金庫ハ其ノ性質上、其ノ融資ハ長期固定的ニシテ、危險ヲ伴フモノガ多カルベク、隨テ日本側一般銀行ノ貸出ニ適セザルモノガ少クナイト思フガ、必要ニ應ジ正金、臺銀等ノ間ニ業務協定等ヲ行フベク、又現段階ニ於テ、一般銀行ハ資金ノ手薄ナル關係上、軍票資金ヲ南方開發金庫ニ仰グベク、又過剩資金ハ南方開發金庫ニ預入レスベク、本基金庫ハ親銀行的立場ニ立ツモノデアツテ、正金、臺銀等ト完全ニ相提携シテ行ケルモノデアルトノ答辯デアリマス

濟建設ノ急務ナル等ニ鑑ミ、一般人ノ渡航ル者ヲ計畫的ニ逐次進出セシムル方針デアルガ、差當リ帝國ヲ中心トスル日滿支ノ經済建設ノ急務ナル等ニ鑑ミ、一般人ノ渡航ハ差止メルコトニナツテ居ルトノコトデアリマス、尙ホ滿洲開拓民トノ關聯ニ於テ、拓務大臣ヨリ、南方ヘノ開拓民ニ付テハ、大東亞共榮圈ニ於テ高度國防國家ヲ確立スル爲メ、從來ノ自由主義的移民計畫ヲ排シテ、一ツノ理念ノ下ニ移民計畫ヲ立て、相當ノ訓練ヲ經タ立派ナ開拓民ヲ送り出スベキデアル、今日我ガ國農村人口ハ、現在ノ農業經營狀態ニ於テハ過剩ト云フヨリモ、寧ロ不足ヲ致シテ居ルノデアルカラ、我ガ國ノ農業經營モ之ヲ合理化シ、先づ日滿ヲ一體トシテノ農村計畫ヲ立て、過剩ノ生ジタル場合南方移民ヲ考慮スベキデアル、隨テ南方移民ニ急ニシテ日滿兩國ノ農村自體ヲ破壊スルコトハ嚴ニ避クベキデアル、單ニ安易ニ物ガ得ラレルト云フ意味デ、南方ヘノ開拓民ヲ優先スルコトハ反對デアル旨ヲ明カニサレタノデアリマス

我ガ方ニ協力ノ誠意ヲ示ス華僑ヤ、現地商人ノ組織ヤ信用ヲ活用スルコトニナツテ居リ、殊ニ華僑ニ付テハ、南方地域ニ於ケル華僑ノ經濟活動ノ重要性ニ鑑ミ、能ク我ガ眞意ヲ了解シテ、大東西共榮圈ノ建設ニ協力シ來ルヤウ、大局的見地ニ立ツテ施策スベキ旨ガ明カニサレ、將來ノ情勢ニ依リ南方開發基金庫ヨリ華僑へ貿貨資金ノ貸出等ヲ行フ場合モアルコトガ示サレタノデアリマス

Digitized by srujanika@gmail.com

開發ノ進捗等ニ伴ヒ、南方諸地域ニ於テ「イシフレーンジョン」ヲ惹起スルノ虞ナキヤトノ點ニ關シ、政府ハ通貨膨脹ノ對策トシテ資ノ供給ヲ幹旋スルコト、四、現地ニ於ケル財政制度ヲ速カニ把握スルコト、三、満支ヨリ物正ナル物價統制對策ト購買力吸收ノ方策ヲ立ツルコト、六、物資ト通貨トノ均衡ヲ圖ルコト等デアツテ、今後此ノ問題ニ付テハ慎重ナル態度ヲ以テ、適正ナル施策ヲナスベキ旨ノ答辯ガアリマシタ

其ノ他船舶ノ積極的造船計畫問題、民間航空路ノ進出問題、現地引揚同胞ノ保護並ニ在外同胞ノ指導、教育問題、現地ノ敵產處理問題其ノ他ニ付キ適切ナル質問ガアリ、之ニ對シ政府ヨリソレバ懇切ナル答辯ガアツクナデアリマス

此ノ場合私ハ委員會ニ於ケル各委員ノ綜合的意見竝ニ委員會ヲ通ジテ横溢致シマシタル希望ヲ御参考マデニ申述べタイト存ジマス、今次ノ大東亞戰爭ハ武力戰デアルト共ニ、歴史的國家總力戰デアリ、世界的資源戰爭デアル以上、政府が議會ニ於テ言明セシ、一、資源ノ確保ハ戰爭遂行上緊要ナル資源ヲ先トスル二、南方資源ノ敵性國家ニ向ヶ流出スルヲ防止スル、三、作戰軍ノ現地ニ於ケル自活ヲ確保スル、四、在來ノ企業ノ我方ニ對スル協力ヲ誘導スル、此ノ基本方針ニ基キ國民ノ經驗、智能、技術ノ創意ヲ活用シテ、速カニ戰爭遂行上必要ト榮闊ノ自給自足體制ヲ整備スベキデアル、而シテ吾々ハ當面ノ戰争ニ戰ヒ抜ク爲ニハ、

現地ニ於キマス經濟施策ヲ效率的ナラシメ、且ツ生産性ヲ昂揚スルコトガ極メテ肝要デアリマス、ソレガ爲ニハ組織機構ヨリモ先进人ノ如何デアラウト思ヒマス、政府ハ大陸ニ於ケル過去ノ事態ニ顧ミ、且ツ國策會社ノ從來ノ情弊ニ鑑ミ、苟クモ南方地域ノ指導經營ニ當ル者ノ選任ニ付テハ、國家ノ大局ニ立ツテ廣ク人材ヲ朝野ニ求メテ、以テ戰爭ノ成敗ヲ十分發揮スルコトニ遺憾ナキヲ期セナケレバナラヌノデアリマス（拍手）隨テ此ノ場合、機密ヲ守リ得ルハ一部人士ニノミ限ルト云フヤウナ偏見ハ、斷ジテ避ケナケレバナラヌノデアリマス、更ニ戰局ノ進展ニ伴ヒマシテ、大東亞共榮圈ニ來リ投ズベキ民族ノ種類ハ、今後極メテ多カラウト思ヒマス、是等多數ノ諸民族ヲシテ大東亞建設ニ協力シ來ル爲ニハ、其ノ中核デアリ指導者タル吾々日本人ガ、謙抑シテ驕ルコトナク正シキ指導原理ノ下ニ、是等諸民族ノ傳統ト文化ヲ尊重シナガラ、雄渾ナル氣宇ト潤達ナル襟度ヲ以テ諸民族ヲ指導シ、且ツ生活ノ安易ヲ圖ルコトガ極メテ肝要デアリマス（拍手）若シモ曩ニ英米ガ採用セシガ如キ搾取ト壓迫ヲ加フルナラバ、今日ノ心服ハ明日ノ怨嗟ノ聲トナリ、戰爭ノ目的ニ背馳シ、輝シキ戰果ヲ瀆スコトトナリ、眞ノ大東亞ノ建設ハ望ミ難イノデアリマス（拍手）即チ政府ハ今申上ゲタル諸點ニ深ク思ヒテ致シ、南方經營ニ其ノ人ヲ得、且ツ諸民族ニ對スル指導宜シキヲ得テ、以テ皇軍ノ赫々タル偉勳、興亞ノ礎石トナリシ名譽アル戰病死者ノ忠魂、銃後國民ノ忍苦ニ應ヘネバナラストノ熱烈ナル希望ガ、本委員

會ヲ通ジテ橫溢致シタコトヲ、特ニ茲ニ御報告申上げマス（拍手）

昨三十日質疑ヲ終リ、直チニ討論ニ入り、翼賛議員同盟ヲ代表シテ鹽川正藏君ヨリ、

同交會ヲ代表シテ服部岩吉君ヨリ、第一控室ヲ代表シテ笠井重治君ヨリ、興亞議員同

盟ヲ代表シテ富吉榮二君ヨリ、ソレドヽ本

金庫ノ使命ノ重大ニ鑑ミ、其ノ運營ニ付キ

善處方ヲ政府ニ要望シテ、原案贊成ノ意見ヲ述ベラレ、採決ノ結果全員一致原案通り可決致シタ次第デアリマス、此ノ段御報告申上げマス（拍手）

○議長（田子一民君） 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長（田子一民君） 「異議ナシ」と呼ブ者アリ

○議長（田子一民君） 本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ、望ミマス

○議長（田子一民君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長（田子一民君） 「異議ナシ」と呼ブ者アリ

○議長（田子一民君） 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○議長（田子一民君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長（田子一民君） 「異議ナシ」と呼ブ者アリ

○議長（田子一民君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

○議長（田子一民君） 別ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決確定致シマシタ（拍手）——日程第五、兵器等製造事業特別助成法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——

○議長（田子一民君） 委員長條原義政君

○議長（田子一民君） 第二讀會（確定議）

○議長（田子一民君） 別ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決確定致シマシタ（拍手）——日程第五、兵器等製造事業特別

一定期間内ニ買上ゲルコトニ依り、將來ノ企業危險ヲ保障シ、不安ナク創意ヲ發揚セシメテ、生産増強ヲ期スルコトデアリマス。第三ハ、擴充設備中特ニ考慮スベキモノニ付キ、短期間内ニ償却ヲ完了セシメ、其ノ企業負擔ヲ輕減シ、企業ニ安定性ヲ與ヘ、生産増強ヲ期スルコトデアリマス。

第四ハ、第一乃至第三ノ助成ヲナスト共ニ、有事ニ備ヘル爲メ教育生産ヲ行ヒ、或ハ設備工具等ノ散逸ヲ防止シ、又原材料ノ準備ヲナスノ策ヲ講ジタコトデアリマス。以上四點デアリマスガ、以上ニ依リ明ナル如ク、本法案ハ單ニ現下ノ必要ニ應ズルガ爲メノミニモノデハナク、將來ノ有事ニ備ヘルモノデアリ、更ニ本法案ハ兵器等製造事業ニ對シ、許可制度ヲ布ギ、廣ク一般的ニ監督助成ヲナスモノデハナク、必要ニ應ジ個々ノ事業ニ對シテ助成ヲ行フモノデ、隨テ單ナル事業法トハ異ナルモノデアリマスガ、決シテ他ノ事業法ヲ排除スルモノデハナク、寧ロ兩々相俟ツテ、其ノ目的ヲ達成サレルモノデアリマス。

本法案ノ内容ノ詳細及ビ各條ノ細目ニ瓦熱心ナル質疑應答ガ繰返サレマシタ、其ノ詳細ニ付テハ、總テ之ヲ速記錄ニ讓ルコト致シマスガ、其ノ中特ニ重要ト認メラル二、三ノ點ニ付キ御報告申上ダマス。

第一ハ、本法案ニハ國有民營ノ兵器工場ヲ規定シテ居ルケレドモ、國防國家體制カラ見テ、急速的ニ軍器製造ノ國有化ヲ必要シテ、之ニ資本ヲ供給シ、若クハ資本ノ短

期償却等ノ方法ニ依リ、其ノ事業ニ安定性ヲ與フルノガ宜クハナイカトノ質問デアリ

マシタ、之ニ對シマスル政府ノ答辯ハ、國

有或ハ民有兩方ノ利點ヲ適當ニ按配調節シ

テ利用シテ行クコトニ於テ、完全ナル進歩

發達ヲ期シタイト云フノデアリマシタ

第二ハ、兵器等ノ生産力ノ增强確保ノ爲ニハ、素材原料等ノ基礎工業ノ生産力ノ增强確保ヲ必要ト信ブルガ、斯カル基礎工業ニ對シテモ本法ヲ適用スル如ク擴張シテハドウカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シマシテ政府ハ、基礎工業生産力確保ノ必要ハ十分認ムルヲ以テ、之ニ對シマシテハ他ノ法制又ハ施設ニ依ツテ、其ノ目的達成ニ努力ヲ續ケツツアリトノ答辯デアリマシタ。

第三ハ、最近一般工場ニ付キマシテモ、都會集中主義ヲ一擲シテ、極力地方分散ヲ圖リツツアルガ、兵器工場ニ於テモ國防上及び地方労力ノ利用上、支障ナキ限り地方分散ヲ圖ツテハドウカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ現ニ地方分散ヲ圖リツツアリ、將來ニ於テモ十分考慮スベキ旨ノ答辯ガアリマシタ(拍手)

第四ハ、我ガ國ト密接不可分ノ關係ニアリマスアル滿洲國ノ兵器工業ト、本法トノ關係ハドウカトノ問ヒニ對シマシテ、政府ヨリ滿洲國ニ於キマシテモ、本法ト同様ノ内容ヲ持ツ取扱ラシテ吳レルモノト思フトノ答辯ガゴザイマシタ

最後ニ各委員ヨリ、我ガ國兵器ノ優秀性ニ關シマシテ質問アリマシタニ對シ、政府

トセズヤト云フ質問デアリマス、他ノ一つハ、真ニ民間ノ創意ト熱意トヲ最高度ニ發揮セシメントスルナラバ、寧ロ民有民營トシマシテ、之ニ資本ヲ供給シ、若クハ資本ノ短

期償却等ノ方法ニ依リ、其ノ事業ニ安定性ヲ與フルノガ宜クハナイカトノ質問デアリ

マシタ、之ニ對シマスル政府ノ答辯ハ、國

有或ハ民有兩方ノ利點ヲ適當ニ按配調節シ

テ利用シテ行クコトニ於テ、完全ナル進歩

發達ヲ期シタイト云フノデアリマシタ

第三ハ、擴充設備中特ニ考慮スベキモノニ付キ、短期間内ニ償却ヲ完了セシメ、其ノ企業負擔ヲ輕減シ、企業ニ安定性ヲ與ヘ、生産増強ヲ期スルコトデアリマス。

第四ハ、第一乃至第三ノ助成ヲナスト共ニ、有事ニ備ヘル爲メ教育生産ヲ行ヒ、或ハ設備工具等ノ散逸ヲ防止シ、又原材料ノ準備ヲナスノ策ヲ講ジタコトデアリマス。以上四點デアリマスガ、以上ニ依リ明ナル如ク、本法案ハ單ニ現下ノ必要ニ應ズルガ爲メノミニモノデハナク、將來ノ有事ニ備ヘルモノデアリ、更ニ本法案ハ兵器等製造事業ニ對シ、許可制度ヲ布ギ、廣ク一般的ニ監督助成ヲナスモノデハナク、必

要ニ應ジ個々ノ事業ニ對シテ助成ヲ行フモノデ、隨テ單ナル事業法トハ異ナルモノデアリマスガ、決シテ他ノ事業法ヲ排除スルモノデハナク、寧ロ兩々相俟ツテ、其ノ目的ヲ達成サレルモノデアリマス。

本法案ノ内容ノ詳細及ビ各條ノ細目ニ瓦熱心ナル質疑應答ガ繰返サレマシタ、其ノ詳細ニ付テハ、總テ之ヲ速記錄ニ讓ルコト致シマスガ、其ノ中特ニ重要ト認メラル二、三ノ點ニ付キ御報告申上ダマス。

第一ハ、本法案ニハ國有民營ノ兵器工場ヲ規定シテ居ルケレドモ、國防國家體制カラ見テ、急速的ニ軍器製造ノ國有化ヲ必要シテ、之ニ資本ヲ供給シ、若クハ資本ノ短

期償却等ノ方法ニ依リ、其ノ事業ニ安定性ヲ與フルノガ宜クハナイカトノ質問デアリ

マシタ、之ニ對シマスル政府ノ答辯ハ、國

有或ハ民有兩方ノ利點ヲ適當ニ按配調節シ

テ利用シテ行クコトニ於テ、完全ナル進歩

發達ヲ期シタイト云フノデアリマシタ

第二ハ、兵器等ノ生産力ノ增强確保ノ爲ニハ、素材原料等ノ基礎工業ノ生産力ノ增强確保ヲ必要ト信ブルガ、斯カル基礎工業ニ對シテモ本法ヲ適用スル如ク擴張シテハドウカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シマシテ政府ハ、基礎工業生産力確保ノ必要ハ十分認ムルヲ以テ、之ニ對シマシテハ他ノ法制又ハ施設ニ依ツテ、其ノ目的達成ニ努力ヲ續ケツツアリトノ答辯デアリマシタ。

第三ハ、最近一般工場ニ付キマシテモ、都會集中主義ヲ一擲シテ、極力地方分散ヲ圖リツツアルガ、兵器工場ニ於テモ國防上及び地方労力ノ利用上、支障ナキ限り地方分散ヲ圖ツテハドウカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ現ニ地方分散ヲ圖リツツアリ、將來ニ於テモ十分考慮スベキ旨ノ答辯ガアリマシタ(拍手)

第四ハ、我ガ國ト密接不可分ノ關係ニアリマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス。

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○議長(田子一民君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○議長(田子一民君) 別ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通

過

○議長(田子一民君) 别ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通

過

○議長(田子一民君) 別ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通

昭和十七年一月三十一日

委員長 宮澤 裕

衆議院議長田子一民殿

報告書

一鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年一月三十一日

委員長 宮澤 裕

衆議院議長田子一民殿

報告書

一地方鐵道補助法中改正法律案(政府
提出)右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年一月三十一日

委員長 宮澤 裕

衆議院議長田子一民殿

報告書

○宮澤裕君登壇

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年一月三十一日

委員長 宮澤 裕

衆議院議長田子一民殿

報告書

○宮澤裕君登壇

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年一月三十一日

委員長 宮澤 裕

衆議院議長田子一民殿

報告書

○宮澤裕君登壇

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年一月三十一日

委員長 宮澤 裕

衆議院議長田子一民殿

報告書

ルコトデアリマス、第一種ノ封緘書デアリマスガ、是ガ五錢ニナツタノデアリマス、ソレカラ第三種ハ五厘ガ一錢ニナリ、第四種ハ三錢ガ四錢ニナツタノデアリマス、其ノ他ニ於テハ變更ハゴザイマセヌ

(議長退席 副議長着席)

法律事項ト致シマシテ、此ノ改正ニ依ツテ凡ソ一千萬圓ノ增收ガ豫期サレテ居リ、其ノ他命令事項範圍ニ於テ九百万圓バカリノ增收ガ計畫サレテアリ、合計凡ソ千九百萬圓バカリノ增收デアリマス、其ノ他電信電話ノ料金ノ値上ニ依ツテ、凡ソ六千五百萬圓バカリノ增收ガ計上サレテ居ルノデアリマス、斯クシテ、兩方合ハセマシテ八千五百萬圓デアリマス、此ノ約八千五百萬圓ノ内四千五百万圓バカリヲ國庫歲入ニ繰入レ、アト四千万圓ヲ通信事務ノ改良及ビ從業員ノ待遇改善ニ充てテ行クト云フ計畫デアリマス、之ニ對シテ委員ヨリ從來通信事務ハ收入主義ニ依ラナイデ、專ラ通信事業ノ改良主義ニ依ツタノデアルガ、此ノ主義ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、私共ニ付託サレマシタ議案ハ、遞信省所管ト致シマシテ郵便法中改正法律案、郵便貯金法中改正法律案、鐵道省所管ト致シマシテ鐵道敷設法中改正法律案及び地方鐵道補助法中改正法律案ノ四件デアリマス、委員會ハ去ル二十四日第一回ヲ開會シテ以來、連日熱心ニ委員及ビ政府當局トノ間ニ質疑應答ガ繰返サレタノデアリマス

先づ遞信省所管ノ郵便法中改正法律案デゴザイマスガ、是ハ第一種郵便貯金法アリマス書狀、即チ封書ノ手紙ヲ一錢値上シマス

ルコト考ヘヨリスル增收政策ニ外ナリマス、其ノ内容ニ付テ申シマスト、從來郵便貯金額ハ一個人最低五十錢、最高三千圓テアツタノデアリマスガ、其ノ最低ハ動力シマセヌガ、三千圓ノ一個人ノ預金額ヲ五千圓ニ引上げマシタコトデアリマス、モウ一つハ、新シク郵便貯金切手ト云フモノヲ創設發行致シマシテ、是ハ割増債券附ノ小額債券ヲ郵便局ノ窓口及ビ切手類ノ販賣所ヲ經由シテ、一般民衆ニ買ハシメル案デアリマスガ、額面ハ二圓及ビ一圓ト云フ大體ノ豫想デアリ、割増債券ノ富鎌ノ金額及ビ鎌數ハ未だハツキリシテ居リマセヌガ、政府ノ豫想致シマス總賣出額ハ、大體ニ於テ一箇年二億圓ヲ賣出スト云フ計畫デ、斯ウ云フ改正案ガ提案サレタノデアリマス、サウシテ其ノ二億圓ヲ賣出シマス期日ハ、凡ソ毎月ヤルコトトシ或ハ場合ニ依ツテ數箇月ニ一回トスルコトアルモ、大體一箇年ヲ通ジテ約二億圓ヲ期シテ賣出スコトニ致シタイ、而シテ何年間ノ實行スルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府當局ノ答辯ト致シテ見タイト云フコトデアリマス、サウシテ成ベク速カニ此ノ抽籤ヲ決定シテ、其ノ債券ハ郵便貯金トシテ振向ケテ見タイト云フヤウナ、政府ノ答辯デアルノデアリマス、是ガ大體遞信省所管ノ改正案ノ骨子デアリ、質疑應答ノ概要デアリマス

其ノ次ハ鐵道敷設法中改正法律案デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り鐵道敷設法ニ於テ豫定線ト云フモノヲ決定致シテ居リマス、其ノ中ニ唯一ツ北海道ノ木古内カラ福山ニ至リマス、所謂福山線ト申シテ居リマス五六十「キロ」ノ豫定線ガゴザイマスガ、其ノルニ公債ヲ消化シ產業資金ヲ充實スルト云ソレガ昭和二十二年ノ三月三十一日デ大體

終了スルノデアルカラ、其時新舊法ヲ睨合

ハシテ新シイ一本ノ補助規程ヲ作ルカ否カ、

即チ其ノ時期ニ於テ新シク補助規程ヲ計畫

スルナリ或ハ廢止スルナリ、茲ニ一ツノ根

本的處置ヲ講ジテ見タノデアル、五箇年

間延長スル理由ハ其處ニアルノダト云フコ

トノ説明デゴザイマス

大體前申シマシタ案ノ内容ハ、以上ノ通

リデアリマスガ、之ニ對シテ昨日大體質疑ヲ

終リマシテ、本日討論ニ入りマシタ、討論

ハ各委員共政府ノ原案ニ賛成スペシト云フコ

御主張デアリマシテ、採決ノ結果滿場一致

可決致シタノデアリマス、以上簡単デゴザ

イマスガ、審議ノ概要ヲ御報告申上げマシ

テ、委員長報告ト致シマス(拍手)

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 四案ノ第一讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 御異議ナシト

認メマス、仍テ四案ノ第一讀會ヲ開クニ決

シマシタ

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 四案ノ第二讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 御異議ナシト

認メマス、仍テ四案ノ第一讀會ヲ開クニ決

シマシタ

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 四案ノ第三讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 四案ノ第四讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 四案ノ第五讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 四案ノ第六讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 四案ノ第七讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

鐵道敷設法中改正法律案

第一讀會(確定議)

重要物資管理營團法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
帝國鑄業開發株式會社中改正法律案
(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十七年一月三十一日 委員長 上田 孝吉

第一讀會(確定議)
衆議院議長田子一民殿 報告書

會社法中改正法律案ハ、資本増加ノ場合ニ、從來政府ノ出資ハ五千万圓ヲ限度ト致シテ居リマシタモノヲ、五千万圓ヲ超エ得ルコトニスル、又其ノ配當補給ノ限度ヲ擴張シヨウツルモノデアリマス、帝國石油株式會社法中改正法律案ハ、前案ト同ジ意味ヲ持ツテ居リマシテ、從來政府出資ノ限度五千万圓デアリマシタモノヲ、五千万圓ヲ超エテ出資シ得ルコトスル、總裁ハ從來通リ一人デアリマスルガ、副總裁ハ一人トアリマスルノヲ、之ヲ二人ニ致シマシテ、一人ヲ現地ニ派駐セシムルト云フ爲ニ改メルノデアリマス、又會社ノ債券ノ發行ヲ三倍ヨリ五倍ニシヨウツル考ヘハナイカドウカ、又ス、次ニ國民更生金庫法中改正法律案ハ、資金ノ充實ヲ圖リマスル爲ニ、資本金ヲ三千万圓增加シテ、政府ガ之ヲ出資シマスト共ニ、又更生債券ノ發行ヲ十倍トアリマスノヲ十五倍ニスル、而シテ所管ハ從來大臣デアリマシタルモノガ商工大臣ニ變リマスル爲ニ、主務大臣ガ大藏大臣ニ協議シテナズト云フ點デアリマス、重要物資管理營團法案ハ、戰時ニ際シマシテ、重要物資ノ貯藏ヲ確保及ビ增强シ、並ニ貯藏重要物資ノ利用ヲ有效且ツ適切ナラシムル爲メデ、資本金ヲ二千万圓ト致シマシテ政府ガ之ヲ出資スルノデアリマス、營團ノ業務ハ、重要物資ノ保有、買入、輸入及ビ賣渡等ヲ政府ノ認可ヲ受ケテナシマシテ、又更ニソレ等業者ニ對シマシテハ、營團ノ所有スルヤウニスル等デアリマス

以上各案ニ對シマシテ各委員ヨリ非常ニ熱心ニシテ真摯ナル質疑ガアリマシタ、政府モ亦之ニ對シテ懇切ナル答辯ガアリマシテ、其ノ質疑應答ヲ致シマスル者ガ十七人ヲ超エタノデアリマス、併シナガラ其ノ詳細ハ之ヲ速記ニ譲リマシテ、今其ノ中主ナルモノノミ數點ヲ申上ゲタイト存ジマス、併シナガラ他ノ部面カラ言ヘバ、ヤハリ國會社ト雖モ會社デアル以上ハ、業績ト云フコトモ考ヘテ行カナケレバナラナイ、此ノニツノ相矛盾セルガ如キ狀態ニ於テ、寧ロ之ヲ營團トスル考ヘハナイカドウカ、又更ニ其ノ國策會社ノ責任者ニ付テハ、十分ニ手腕ヲ揮ハシメタラ宜イト思フガ、其ノ方策ガアルカドウカ、斯ウ云フ間ニ對シテ、國策會社ガ使命ニ重點ヲ置イテ行クベキモノデアリマスコトハ當然デアルガ、併シナガラ今此ノ國策會社ヲ直チニ營團トスルベキ時期ニハ立至ツテ居ラナイ、責任者ニ對シテ手腕ヲ揮ハシメルト云フコトニ付テハ、今後トモ極力注意シテ、サウ云フ風ニシテ行キタイト思フノ答ヘガアリマシタ次ニ又問トシテ、國策會社ノ成績ハ從來良好デナイト言ハレテ居ルガ、其ノ監督ノ方法ハドウカ、又是等國策會社ニ對スル人事ノ刷新ヲ思切ツテヤル考ハナイカドウカト云フコトニ對シテノ答トシテ、國策會社ノ成績ト云フモノハ、單ニ營業上ノ收益ニ依ツテノミ考ヘル譯ニハ參ラナイ、國策ヲ基本トスベキモノデアツテ、又同時ニ民間ニ於テナシ得ナイヤウナ事業ヲ國策會社ガ願ヒタイ、其ノ監督ニ付テハ一層十分ニ注意ヲ致シマシテ、今後萬全ヲ期スルヤウニシテ行キタイト思フ、更ニ人造石油を得ル見込ハ十分デアル、又石油ノ對策ニ付キマシテハ、十分ニ將來トモ萬全ヲ期スルヤウニシテ行キタイト思フ、更ニ人造石油ニ付テハ、以上ノヤウナ次第デアルカラシテ、南方ノ共榮圈ガ開ケマシテモ、之ヲ以テ忽セニスベキモノデハ斷ジテナインデアリマシテ、今後一層之ヲ増産スルヤウニシテ行キタルト云フコトヲ十分ニ御諒承ラシテ、南方ノ共榮圈ガ開ケマシテモ、之ヲ以テカナケレバナラヌモノデアルト考ヘル、又

テ、其ノ質疑應答ヲ致シマスル者ガ十七人ノ超エタノデアリマス、併シナガラ其ノ詳細ハ之ヲ速記ニ譲リマシテ、今其ノ中主ナルモノノミ數點ヲ申上ゲタイト存ジマス、併シナガラ他ノ部面カラ言ヘバ、ヤハリ國會社ト雖モ會社デアル以上ハ、業績ト云フコトモ考ヘハナイカドウカト云フコトニ付テ、國策會社ガ使命ニ重點ヲ置イテ行クベキモノデアリマスコトハ當然デアルガ、併シナガラ今此ノ國策會社ヲ直チニ營團トスルベキ時期ニハ立至ツテ居ラナイ、責任者ニ對シテ手腕ヲ揮ハシメルト云フコトニ付テハ、今後トモ極力注意シテ、サウ云フ風ニシテ行キタイト思フノ答ヘガアリマシタ次ニ又問トシテ、國策會社ノ成績ハ從來良好デナイト言ハレテ居ルガ、其ノ監督ノ方法ハドウカ、又是等國策會社ニ對スル人事ノ刷新ヲ思切ツテヤル考ハナイカドウカト云フコトニ對シテ、國策會社ニ對スル答トシテハ、軍ト全面の共榮圈ニ於テ、蘭印ハ約八百万「トン」、其ノ他計一千万「トン」位產出しシ得ルケレドモ併シナガラ之ヲ以テ共榮圈ニ於テ餘剩ガアルトハ思ハレナインデアルカラシテ、今後一層規正ヲスベキモノデアル、且ツ現在ニ於テ占領セラレテ居リマスル地域ニ付テハ、軍ガ其ノ管理ヲナシテ居ルノデアツテ、敵國ハ其ノ占領地域ニ於ケル油坑其ノ他ニ付テ、可ナリ破壊ヲシテ居ルケレドモ、大體ノ成績ト云フモノハ、單ニ營業上ノ收益ニ得ル見込ハ十分デアル、又石油ノ對策ニ付キマシテハ、十分ニ將來トモ萬全ヲ期スルヤウニシテ行キタイト思フ、更ニ人造石油ニ付テハ、以上ノヤウナ次第デアルカラシテ、南方ノ共榮圈ガ開ケマシテモ、之ヲ以テ忽セニスベキモノデハ断ジテナインデアリマシテ、今後一層之ヲ増産スルヤウニシテ行キタルト云フコトヲ十分ニ御諒承ラシテ、南方ノ共榮圈ガ開ケマシテモ、之ヲ以テカナケレバナラヌモノデアルト考ヘル、又

テ、其ノ質疑應答ヲ致シマスル者ガ十七人ノ超エタノデアリマス、併シナガラ其ノ詳細ハ之ヲ速記ニ譲リマシテ、今其ノ中主ナルモノノミ數點ヲ申上ゲタイト存ジマス、併シナガラ他ノ部面カラ言ヘバ、ヤハリ國會社ト雖モ會社デアル以上ハ、業績ト云フコトモ考ヘハナイカドウカト云フコトニ付テ、國策會社ガ使命ニ重點ヲ置イテ行クベキモノデアリマスコトハ當然デアルガ、併シナガラ今此ノ國策會社ヲ直チニ營團トスルベキ時期ニハ立至ツテ居ラナイ、責任者ニ對シテ手腕ヲ揮ハシメルト云フコトニ付テハ、今後トモ極力注意シテ、サウ云フ風ニシテ行キタイト思フノ答ヘガアリマシタ次ニ又問トシテ、國策會社ノ成績ハ從來良好デナイト言ハレテ居ルガ、其ノ監督ノ方法ハドウカ、又是等國策會社ニ對スル人事ノ刷新ヲ思切ツテヤル考ハナイカドウカト云フコトニ對シテ、國策會社ニ對スル答トシテハ、軍ト全面の共榮圈ニ於テ、蘭印ハ約八百万「トン」、其ノ他計一千万「トン」位產出しシ得ルケレドモ併シナガラ之ヲ以テ共榮圈ニ於テ餘剩ガアルトハ思ハレナインデアルカラシテ、今後一層規正ヲスベキモノデアル、且ツ現在ニ於テ占領セラレテ居リマスル地域ニ付テハ、軍ガ其ノ管理ヲナシテ居ルノデアツテ、敵國ハ其ノ占領地域ニ於ケル油坑其ノ他ニ付テ、可ナリ破壊ヲシテ居ルケレドモ、大體ノ成績ト云フモノハ、單ニ營業上ノ收益ニ得ル見込ハ十分デアル、又石油ノ對策ニ付キマシテハ、十分ニ將來トモ萬全ヲ期スルヤウニシテ行キタイト思フ、更ニ人造石油ニ付テハ、以上ノヤウナ次第デアルカラシテ、南方ノ共榮圈ガ開ケマシテモ、之ヲ以テ忽セニスベキモノデハ断ジテナインデアリマシテ、今後一層之ヲ増産スルヤウニシテ行キタルト云フコトヲ十分ニ御諒承ラシテ、南方ノ共榮圈ガ開ケマシテモ、之ヲ以テカナケレバナラヌモノデアルト考ヘル、又

新勞働力ノ供出ト云フコトガ必要トナツテ
參ツタノデアル、是ニ於テ劣弱者ヨリモ、寧
ロ有能者或ハ壯者ヲシテ轉廢業ヲセシムル
必要ガアルヤウニナツタノデアツテ、是ニ於
テ中小商工業者ノ整理統合並ニ轉廢業ノ對
策ハ、一大革新ノ時機ニ到達シタモノデアル
ト云フコトデアリマシタ、隨テ轉廢業者ハ國
家ノ緊要ナル部分ニ於テ、例へバ軍需工業
デアルトカ、或ハ海外ニ向ツテモ今後進出ヲ
シテ戴カナケレバナラヌノデアルカラシテ、
是等ニ對シテ適當ナ訓練ヲ行フ必要ガア
ル、隨テ其ノ訓練所ヲ或ハ擴張シ、或ハ新
設スル方針デアルト云フコトデアリマシタ、
次ニ又是等轉廢業者ニ對シマスル共助金、
資產引受等ニ付テハ、相當ニ行ケルヤウニ
ナツテ居ルケレドモ、未ダ十分デナイ點ガ
アルカラ、其ノ點ハ集團的ナ活用ニ依ツテ
開拓シテ行クヤウニシタイト云フコトデア
リマシタ、次ニ又商業報國會、勤勞報國隊ト
云フヤウナモノ等ニ依リマシテ、其ノ機能
ヲ消極的デナクシテ、今後ハ積極的ニ發揮
セシムルヤウニシテ、精神的ニモ國策遂行
ノ戰士トシテ、是等轉廢業者ガ働くノデア
ツテ、社會上ノ所謂劣レル者、弱キ者ガ已
ムヲ得ズスルノデアルト云フヤウナ考ヘヲ
一擲シテ政府モ進マナケレバナラヌガ、國
民モドウカ是等ノ者ニ對シテハ、非常ナル
熱意ト溫カミヲ以テ、所謂戰士トシテ迎ヘ
テ行クヤウニシテ戴キタイト云フコトデア
リマシタ、次ニ又移民ハ、南方ガ開かれタト言
ヒマシテモ、北ノ方ヲ無視スル譯ニハイカ
スノデアツテ、滿洲ノ農業移民ハ國防的見
地ト、日本精神ノ養成ト、更ニ體力ノ練磨
ト云フヤウナ點カラ見マシテ、最モ緊切ナ
ルモノデアルカラシテ、其ノ必要ハ減ジナ

イノデアル、南ノ方へ移住スル者ニ付テハ、寧ロ指道的立場ニ在ル者ヲ移スコトニシタ
イト思フガ、何レニシテモ北ノ方ハ勿論、南方ニ對スル移民ニ付テモ、其ノ移民計畫ヲ併セテ確立スルヤウニシテ行キタイト云フコトデアリマシタ

云フヤウナ點ニ付テハ、多少手續ヲ要スル所ノ重要物資ノ範圍及ビ地域ハ如何デアルカド云フ點ニ付テノ答ヘトシテ、戰時ニ必要ナル食糧以外ノ物資デアル鐵鋼、非鐵全屬及ビ其ノ原料製品、纖維製品及ビ其ノ原料、化學藥品ト其ノ原料、工業用原料ト其ノ製品、醫藥品、衛生醫療用材料資材、防空用資材等數百種ニ及ブモノデアル、是等ヲ買取り、輸入シ、保有シ、或ハ配給スル等ニ付テ、營團ハ内地ヲ對象トシテ居ルケレドモ、更ニ外地又ハ外國ノ物資ヲモ獲得保有ラヌモノノデアルト云フコトデアリマシタ、更ニ又南方ノ物資ニ付テハ、當分軍ガ現地デ之ヲ買上ガマシテ、南方開發金庫等カラ資金ヲ供給スルガ、輸入サレタ南方ノ物資ハ、軍ノ直接要ルモノハ之ヲ除キマシテ、其ソ餘リノ物ハ營團ガ之ヲ買取り、以テ保管ラヌ方針デアルト云フコトデアリマシタ、更ニ問トシテ、此ノ營團ハ資本金二千万圓ト云フコトニ對スル答ヘトシテ、二千万圓ト云フノハ、是ハ其ノ二千万圓ノ利子ヲ事務費ニ充テルノデアツテ、元來營團ガ扱ヒマスルモノハ大體短期デアリ、買取保有ニ付テハ融資ヲ仰グコトニナツテ居ル尙金ハ只今ノ所少イト云フコトハナイ、斯ウ云フコトデアリマシタ、次ニ保有倉庫ノ用テ補償シテ貰フコトニナツテ居ルカラ、資本専用アカルカドウカ、又倉庫ノ統制會ヲ作ツ意ガアルカドウカ、

テ、是ト營團トガ互ヒニ協力シテ行クコト
ガ必要デハナイカト云フ問ニ對シテ、答ヘ
トシテ、倉庫ハ現ニ其ノ倉庫内ニ在リマス
ル物ヲ營團ガ買取ツテ保有スルノデアルカ
ラシテ、別ニ差支ハナイト思フ、唯南方等
新シキ地域カラ輸入サレルモノニ付テハ、
倉庫ノ新設ト云フヤウナコトガ、將來必要
トナルモノト考ヘルト云フコトデアリマシ
タ

シテ、小平重吉君、田中亮一君、川俣清音

君、瀧澤七郎君ノ諸君ガ各、其ノ會派ヲ代表

致シマシテ意見ヲ述ベラレタノデアリマス

ルガ、更ニ其ノ意見ノ中ニ、國策會社ノ今

後ノ運營、人事ニ付テ、尙且ツ十分デナイ

モノガ澤山アルノデアルカラ、此ノ際意ヲ

用フルヤウニシテ貴ヒタイ、又、國民更生

金庫ノ改正ガ行ハレルコトハ洵ニ結構デア

ルガ、此ノ際一層思ヒ切ソテ是等產業上ノ

戰士トナルベキ轉廢業者ニ付テハ、十分ニ

溫カミト寛大サフ以テ對應スルヤウニシテ

貰ヒタイト云フヤウナ意見ヲ加ヘラレタノ

デアリマス、斯クテ採決ノ結果滿場一致原

案ヲ可トスルコトニ致シマシテ、原案ハ可

決サレタ次第アリマス、右御報告申上ゲ

マス(拍手)

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 五案ノ第二讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ)

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 御異議ナシト

認メマス、仍テ五案ノ第二讀會ヲ開クニ決

シマシタ

○服部崎市君 直チニ五案ノ第一讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通
リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 服部君ノ動議
ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ)

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 御異議ナシト
認メマス、仍テ直チニ五案ノ第二讀會ヲ開
キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

國民更生金庫法中改正法律案

第二讀會(確定議)

帝國石油株式會社法中改正法律案

第二讀會(確定議)

重要物資管理營團法案

第二讀會(確定議)

帝國礦業開發株式會社法中改正法律案

第二讀會(確定議)

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 別ニ御發議ア
リマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、五案トモ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

是ニテ議事日程ハ議了致シマシタ、次會ノ
議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日
ハ是ニテ散會致シマス

午後二時三十四分散會